SEISHO JHS Journal

青翔中学校通信

（10月9日号　Vol.5）

9月のオンライン授業・分散登校の様子について生徒がレポートします！

オンライン授業の良さも実感（中一）

初めてのオンライン授業

夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まったと思った矢先、オンライン授業になってしまいました。

最初は、パソコンの操作やアプリの使い方などにとまどいましたが、しばらくすると慣れてきました。

また、オンラインになって良かったこともありました。

一つ目は、専用のアプリをひらけば一瞬で学校に行ったようになるので、朝と夕方の時間によゆうができたことです。

二つ目は、自宅で授業を受けるので資料を広げて勉強できることです。

奇数の友達と長い間会えなかったので、ひさしぶりに会えたときはとてもうれしかったです。

全員と一緒の授業が楽しい！（中二）

全員登校が始まってまだ一週間もたってないがやっぱりクラス全員で授業を受ける方が良いと思う。

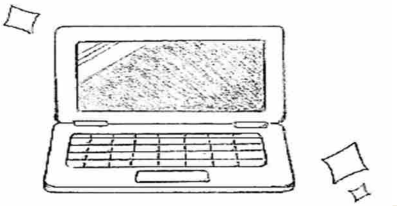
学校が休みになったり分散登校だったりしてなかなか友達と会うことも無くなった。分散登校ではインターネットの使い方に苦戦したり　学校ではクラスメートがいつもの半分しかいなくてクラスの元気が無かった。普段特に元気のある二年一組では分散登校中も静かであったわけではないがやはり少し元気がたりなかった。そんな分散登校も終わり、やっとみんなと会えるようになった今思うことは、やっぱりクラスメートっていいなということ。全員登校が始まりにぎやかすぎると思う時もあるが、元気が無いよりは良いと思う。

分散登校になって気付いたことはたくさんある。やっぱり、二年一組の全員と授業を受けたりする方が楽しい。ずっと全員で学校に行ける日が続いたらいいなと思います。

一斉登校　教室に活気が戻る（中三）

私が印象に残っている授業は，一斉登校が始まってからの最初の授業です。分散登校では教室の人数が半分で静かな授業でしたが、全員で登校することで活気のある授業になっていました。

オンラインは面白かったですが、普段の授業よりも進むスピードが遅く、画面を長時間見ているため疲れました…しかし、先生たちはオンラインで受けている私たち生徒に向けて一生懸命授業をしてくれました。

普段は気づきませんでしたが、リモート授業を通してみて，私は全員でコミュニケーションを取りながら楽しく進める授業の方が良いと思いました。